

事業名	一般国道45号 三陸沿岸道路 歌津～本吉
事業主体	東北地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	(一休評価 登米～釜石) 全 体：費用便益比 (B/C) = 1.1 (経済的純現在価値 (B-C) = 326億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 4.3%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 1.1 (経済的純現在価値 (B-C) = 1.8億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 4.6%) (歌津～本吉) 全 体：費用便益比 (B/C) = 1.3 (経済的純現在価値 (B-C) = 292億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.6%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 1.1 (経済的純現在価値 (B-C) = 1.8億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 4.6%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 並行区間等の年間渋滞損失時間 (人・時間) 及び削減率	区間b (当該区間／並行区間) について：(南三陸町歌津～気仙沼市本吉) 当該区間の渋滞損失時間：66万人・時間/年 当該区間の渋滞損失削減率：約7割削減	
	<input type="checkbox"/> 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される		
	<input type="checkbox"/> 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる		
	<input type="checkbox"/> 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる		
	<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる		
	物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	
	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 三大都市圏の環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	当該路線は、東日本大震災からの早期復興を図る復興道路として位置づけ
<input type="checkbox"/> IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する			
<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である			

2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	
	災害への備え	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	緊急輸送道路（宮城県）
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	一般国道45号
		<input checked="" type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	東北自動車道
		<input type="checkbox"/> 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：8,717t/年
	生活環境の改善・保全	<input type="checkbox"/> 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	
		<input type="checkbox"/> 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	
		<input type="checkbox"/> 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	宮城県社会資本整備再生・復興計画（宮城県）
		<input checked="" type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	みやぎ県北高速幹線道路との連携

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP その他の別
一般国道45号	三陸沿岸道路 (登米～釜石)	L=87.1km	高規格B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,800	2	東北地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	4,369億円	848億円	5,217億円
うち残事業分	18億円	3.2億円	21億円
基準年における 現在価値 (C)	5,256億円	364億円	5,620億円
うち残事業分	16億円	1.1億円	17億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和3年度・令和8年度			
単年便益 (初年便益)	248億円	39億円	14億円	301億円
基準年における 現在価値 (B)	4,898億円	781億円	267億円	5,946億円
うち残事業分	12億円	6.5億円	0.32億円	19億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	326億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.3%
費用便益比（残事業）	1.1
経済的純現在価値（残事業）	1.8億円
経済的内部収益率（残事業）	4.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（全事業対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	11,800台/日	±10%	1.1 ~ 1.1
事業費	4369億円	±10%	1.1 ~ 1.1
事業期間	15年	±1年	1.02 ~ 1.1

④ 感度分析（残事業対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	11,800台/日	±10%	1.1 ~ 1.2
事業費	18億円	±10%	1.01 ~ 1.2
事業期間	5年	±1年	1.1 ~ 1.1

交通状況の変化

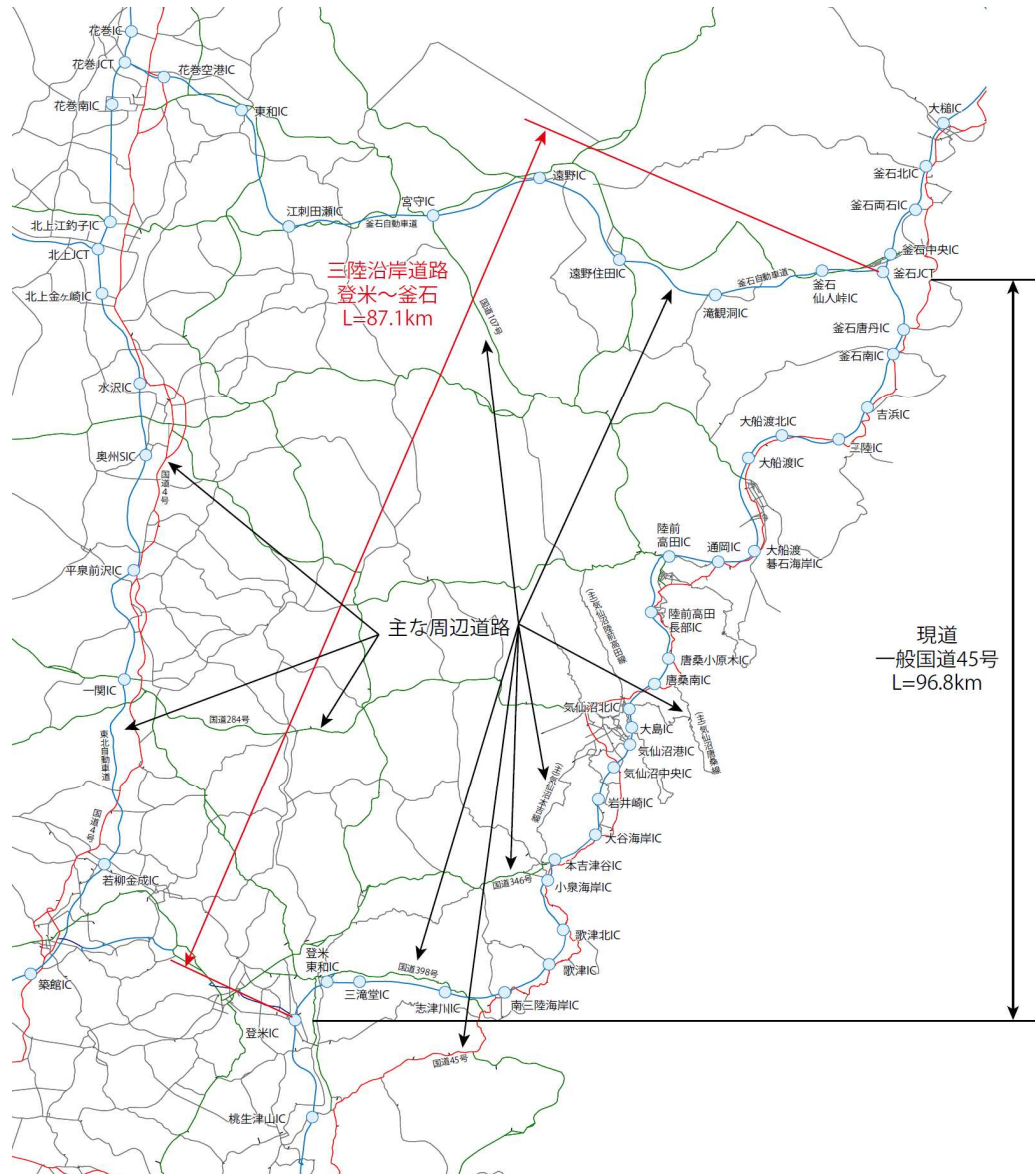
一般国道45号三陸沿岸道路（登米～釜石）全体

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] :87.1km	交通量	[台/日]	0	11,800	
	走行時間	[分]	0	80	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	190.82	
②主な周辺 道路	一般国道45号 (現道区間) :96.8km	交通量	[台/日]	7,800	2,800
		走行時間	[分]	137	107
		走行時間費用	[億円/年]	205.19	56.53
	東北自動車道 :151.6km	交通量	[台/日]	21,800	21,000
		走行時間	[分]	91	91
		走行時間費用	[億円/年]	411.44	384.36
	釜石自動車道 :56.1km	交通量	[台/日]	9,600	8,100
		走行時間	[分]	53	49
		走行時間費用	[億円/年]	107.34	79.70
	一般国道4号 :102.8km	交通量	[台/日]	18,400	17,500
		走行時間	[分]	175	170
		走行時間費用	[億円/年]	631.43	566.59
	一般国道45号 (他区間) :18.2km	交通量	[台/日]	5,700	3,000
		走行時間	[分]	33	27
		走行時間費用	[億円/年]	38.06	15.53
	一般国道107号 :43.9km	交通量	[台/日]	5,000	3,700
		走行時間	[分]	66	63
		走行時間費用	[億円/年]	63.63	42.43
	一般国道284号 :47.3km	交通量	[台/日]	7,100	7,000
		走行時間	[分]	101	99
		走行時間費用	[億円/年]	132.21	122.75
	一般国道346号 :34.1km	交通量	[台/日]	4,000	2,400
		走行時間	[分]	67	65
		走行時間費用	[億円/年]	53.00	26.42
一般国道398号 :17.0km	交通量	[台/日]	3,100	900	
	走行時間	[分]	25	25	
	走行時間費用	[億円/年]	15.57	4.32	
(主) 気仙沼唐 桑線 :6.6km	交通量	[台/日]	9,000	6,700	
	走行時間	[分]	16	13	
	走行時間費用	[億円/年]	26.57	15.54	
③その他道路合計 :10090.3km	走行時間費用	[億円/年]	25192.84	25129.21	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:10751.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	26877.28	26634.20	243.08

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

一般国道45号三陸沿岸道路（登米～釜石）全体



交通状況の変化

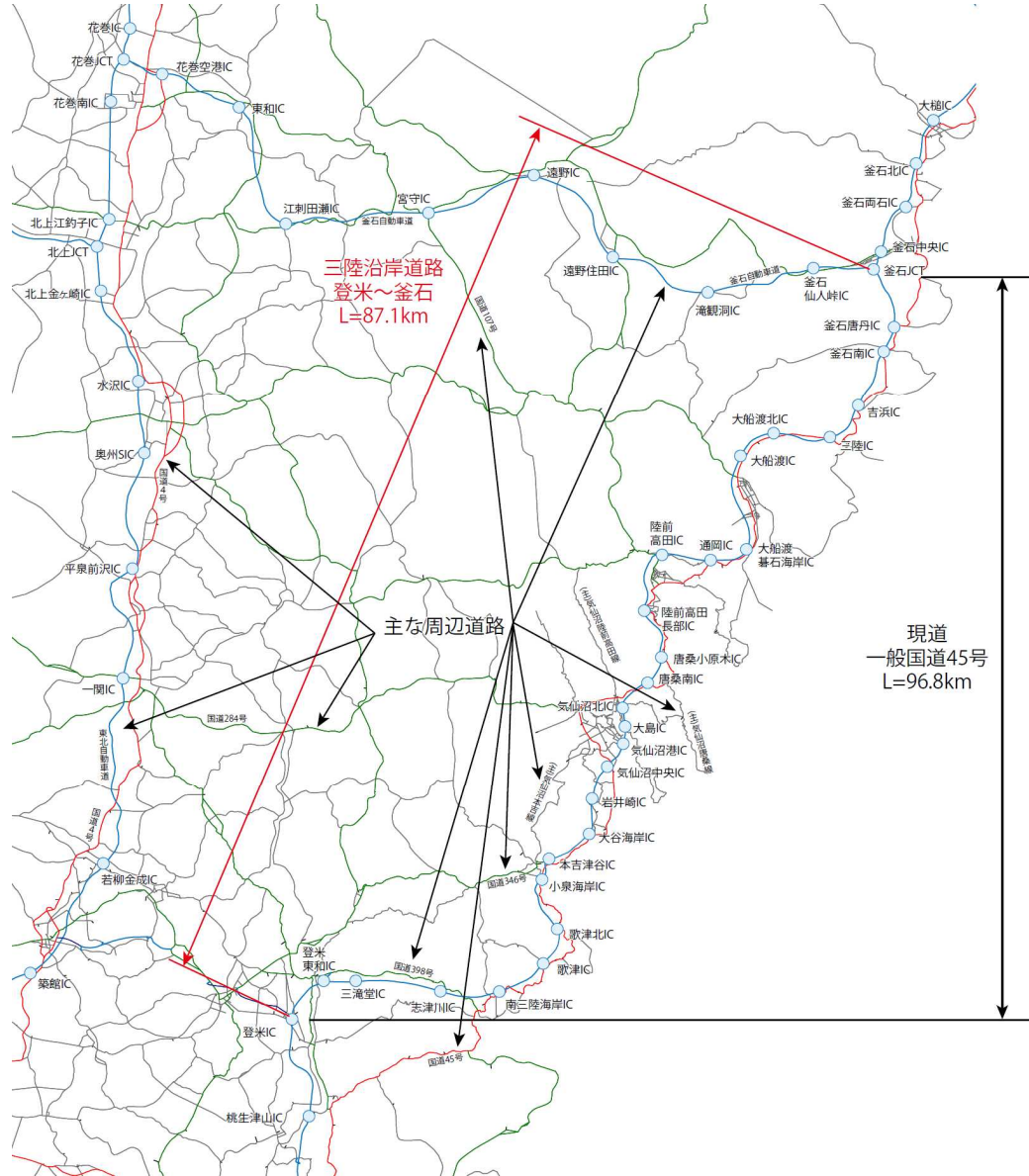
一般国道45号三陸沿岸道路（登米～釜石）残事業

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] :0.0km	交通量	[台/日]	11,700	11,800	
	走行時間	[分]	80	80	
	走行時間費用	[億円/年]	190.98	191.66	
②主な周辺 道路	一般国道45号 (現道区間) :96.8km	交通量	[台/日]	2,800	2,800
		走行時間	[分]	108	108
		走行時間費用	[億円/年]	57.92	57.00
	東北自動車道 :151.6km	交通量	[台/日]	21,000	21,000
		走行時間	[分]	91	91
		走行時間費用	[億円/年]	386.15	386.06
	釜石自動車道 :56.1km	交通量	[台/日]	8,100	8,100
		走行時間	[分]	50	50
		走行時間費用	[億円/年]	80.06	80.05
	一般国道4号 :102.8km	交通量	[台/日]	17,500	17,500
		走行時間	[分]	171	171
		走行時間費用	[億円/年]	571.50	571.37
	一般国道45号 (他区間) :18.2km	交通量	[台/日]	3,000	3,000
		走行時間	[分]	28	28
		走行時間費用	[億円/年]	15.67	15.66
	一般国道107号 :43.9km	交通量	[台/日]	3,700	3,700
		走行時間	[分]	63	63
		走行時間費用	[億円/年]	42.81	42.80
	一般国道284号 :47.3km	交通量	[台/日]	7,000	7,000
		走行時間	[分]	100	100
		走行時間費用	[億円/年]	123.81	123.78
	一般国道346号 :34.1km	交通量	[台/日]	2,400	2,400
		走行時間	[分]	65	65
		走行時間費用	[億円/年]	26.66	26.65
	一般国道398号 :17.0km	交通量	[台/日]	900	900
		走行時間	[分]	25	25
		走行時間費用	[億円/年]	4.33	4.32
(主) 気仙沼唐 桑線 :6.6km	交通量	[台/日]	6,700	6,700	
	走行時間	[分]	13	13	
	走行時間費用	[億円/年]	15.55	15.54	
③その他道路合計 :10177.4km	走行時間費用	[億円/年]	25119.46	25119.31	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計:10751.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	26634.90	26634.20	0.70

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

一般国道45号三陸沿岸道路（登米～釜石）残事業



費用便益分析の条件

事業名：一般国道45号三陸沿岸道路(登米～釜石)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)内の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()		<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 H23.3東日本大震災時における登米～釜石間での最長の全面通行止め日数を50年間に 換算(122日/年⇒2日/50年)	(2) 日
とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載		<input type="checkbox"/>	
冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 当該区間を管轄する各出張所の除雪稼働日数より設定 (H29～R1)	(63) 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道45号三陸沿岸道路(登米~釜石)全体

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.210	87.1	18.66

年次	年度	割引率 4%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-10年目	H 23	1.4233	99.8	181.41	265.96		
-9年目	H 24	1.3686	99.0	335.08	476.19		
-8年目	H 25	1.3159	99.0	535.87	732.22		
-7年目	H 26	1.2653	101.5	442.62	567.22		
-6年目	H 27	1.2167	103.0	435.50	528.84		
-5年目	H 28	1.1699	102.8	882.93	1032.94		
-4年目	H 29	1.1249	102.9	533.63	599.70		
-3年目	H 30	1.0816	102.8	433.02	468.35		
-2年目	R 1	1.0400	102.8	261.05	271.49		
-1年目	R 2	1.0000	102.8	309.87	309.87		
供用開始年次	R 3	0.9615	102.8	2.82	2.71	16.90	16.25
1年目	R 4	0.9246	102.8	4.55	4.21	16.90	15.63
2年目	R 5	0.8890	102.8	4.55	4.04	16.90	15.02
3年目	R 6	0.8548	102.8	4.55	3.89	16.90	14.45
4年目	R 7	0.8219	102.8	1.82	1.50	16.90	13.89
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8			16.96	13.41
6年目	R 9	0.7599	102.8			16.96	12.89
7年目	R 10	0.7307	102.8			16.96	12.40
8年目	R 11	0.7026	102.8			16.96	11.92
9年目	R 12	0.6756	102.8			16.96	11.46
10年目	R 13	0.6496	102.8			16.96	11.02
11年目	R 14	0.6246	102.8			16.96	10.60
12年目	R 15	0.6006	102.8			16.96	10.19
13年目	R 16	0.5775	102.8			16.96	9.80
14年目	R 17	0.5553	102.8			16.96	9.42
15年目	R 18	0.5339	102.8			16.96	9.06
16年目	R 19	0.5134	102.8			16.96	8.71
17年目	R 20	0.4936	102.8			16.96	8.37
18年目	R 21	0.4746	102.8			16.96	8.05
19年目	R 22	0.4564	102.8			16.96	7.74
20年目	R 23	0.4388	102.8			16.96	7.44
21年目	R 24	0.4220	102.8			16.96	7.16
22年目	R 25	0.4057	102.8			16.96	6.88
23年目	R 26	0.3901	102.8			16.96	6.62
24年目	R 27	0.3751	102.8			16.96	6.36
25年目	R 28	0.3607	102.8			16.96	6.12
26年目	R 29	0.3468	102.8			16.96	5.88
27年目	R 30	0.3335	102.8			16.96	5.66
28年目	R 31	0.3207	102.8			16.96	5.44
29年目	R 32	0.3083	102.8			16.96	5.23
30年目	R 33	0.2965	102.8			16.96	5.03
31年目	R 34	0.2851	102.8			16.96	4.84
32年目	R 35	0.2741	102.8			16.96	4.65
33年目	R 36	0.2636	102.8			16.96	4.47
34年目	R 37	0.2534	102.8			16.96	4.30
35年目	R 38	0.2437	102.8			16.96	4.13
36年目	R 39	0.2343	102.8			16.96	3.97
37年目	R 40	0.2253	102.8			16.96	3.82
38年目	R 41	0.2166	102.8			16.96	3.67
39年目	R 42	0.2083	102.8			16.96	3.53
40年目	R 43	0.2003	102.8			16.96	3.40
41年目	R 44	0.1926	102.8			16.96	3.27
42年目	R 45	0.1852	102.8			16.96	3.14
43年目	R 46	0.1780	102.8			16.96	3.02
44年目	R 47	0.1712	102.8			16.96	2.90
45年目	R 48	0.1646	102.8			16.96	2.79
46年目	R 49	0.1583	102.8			16.96	2.69
47年目	R 50	0.1522	102.8			16.96	2.58
48年目	R 51	0.1463	102.8			16.96	2.48
49年目	R 52	0.1407	102.8	-96.92	-13.64	16.96	2.39
合計				4272.35	5255.50	847.86	364.14

単純事業費計		4369.27	847.86
--------	--	---------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道45号三陸沿岸道路(登米~釜石)残事業

年次	年度	割引率 4%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.230		0.3	0.07
-5年目	R 3	0.9615	102.8	2.82	2.71		
-4年目	R 4	0.9246	102.8	4.55	4.21		
-3年目	R 5	0.8890	102.8	4.55	4.04		
-2年目	R 6	0.8548	102.8	4.55	3.89		
-1年目	R 7	0.8219	102.8	1.82	1.50		
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8			0.06	0.05
1年目	R 9	0.7599	102.8			0.06	0.05
2年目	R 10	0.7307	102.8			0.06	0.05
3年目	R 11	0.7026	102.8			0.06	0.04
4年目	R 12	0.6756	102.8			0.06	0.04
5年目	R 13	0.6496	102.8			0.06	0.04
6年目	R 14	0.6246	102.8			0.06	0.04
7年目	R 15	0.6006	102.8			0.06	0.04
8年目	R 16	0.5775	102.8			0.06	0.04
9年目	R 17	0.5553	102.8			0.06	0.04
10年目	R 18	0.5339	102.8			0.06	0.03
11年目	R 19	0.5134	102.8			0.06	0.03
12年目	R 20	0.4936	102.8			0.06	0.03
13年目	R 21	0.4746	102.8			0.06	0.03
14年目	R 22	0.4564	102.8			0.06	0.03
15年目	R 23	0.4388	102.8			0.06	0.03
16年目	R 24	0.4220	102.8			0.06	0.03
17年目	R 25	0.4057	102.8			0.06	0.03
18年目	R 26	0.3901	102.8			0.06	0.02
19年目	R 27	0.3751	102.8			0.06	0.02
20年目	R 28	0.3607	102.8			0.06	0.02
21年目	R 29	0.3468	102.8			0.06	0.02
22年目	R 30	0.3335	102.8			0.06	0.02
23年目	R 31	0.3207	102.8			0.06	0.02
24年目	R 32	0.3083	102.8			0.06	0.02
25年目	R 33	0.2965	102.8			0.06	0.02
26年目	R 34	0.2851	102.8			0.06	0.02
27年目	R 35	0.2741	102.8			0.06	0.02
28年目	R 36	0.2636	102.8			0.06	0.02
29年目	R 37	0.2534	102.8			0.06	0.02
30年目	R 38	0.2437	102.8			0.06	0.02
31年目	R 39	0.2343	102.8			0.06	0.01
32年目	R 40	0.2253	102.8			0.06	0.01
33年目	R 41	0.2166	102.8			0.06	0.01
34年目	R 42	0.2083	102.8			0.06	0.01
35年目	R 43	0.2003	102.8			0.06	0.01
36年目	R 44	0.1926	102.8			0.06	0.01
37年目	R 45	0.1852	102.8			0.06	0.01
38年目	R 46	0.1780	102.8			0.06	0.01
39年目	R 47	0.1712	102.8			0.06	0.01
40年目	R 48	0.1646	102.8			0.06	0.01
41年目	R 49	0.1583	102.8			0.06	0.01
42年目	R 50	0.1522	102.8			0.06	0.01
43年目	R 51	0.1463	102.8			0.06	0.01
44年目	R 52	0.1407	102.8			0.06	0.01
45年目	R 53	0.1353	102.8			0.06	0.01
46年目	R 54	0.1301	102.8			0.06	0.01
47年目	R 55	0.1251	102.8			0.06	0.01
48年目	R 56	0.1203	102.8			0.06	0.01
49年目	R 57	0.1157	102.8	-1.00	-0.12	0.06	0.01
合計				17.29	16.23	3.18	1.12
単純事業費計				18.29		3.18	

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ その他の別
一般国道45号	三陸沿岸道路 (歌津～本吉)	L=12.0km	高規格B	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
13,900	2	東北地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	675億円	111億円	786億円
うち残事業分	18億円	3.2億円	21億円
基準年における 現在価値 (C)	803億円	47億円	851億円
うち残事業分	16億円	1.1億円	17億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和3年度・令和8年度			
単年便益 (初年便益)	47億円	8.0億円	2.3億円	57億円
基準年における 現在価値 (B)	938億円	161億円	43億円	1,142億円
うち残事業分	12億円	6.5億円	0.32億円	19億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	292億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.6%
費用便益比（残事業）	1.1
経済的純現在価値（残事業）	1.8億円
経済的内部収益率（残事業）	4.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（全事業対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	13,900台/日	±10%	1.2 ~ 1.5
事業費	675億円	±10%	1.3 ~ 1.3
事業期間	15年	±1年	1.3 ~ 1.3

④ 感度分析（残事業対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	13,900台/日	±10%	1.01 ~ 1.2
事業費	18億円	±10%	1.01 ~ 1.2
事業期間	5年	±1年	1.1 ~ 1.1

交通状況の変化

一般国道45号三陸沿岸道路（歌津～本吉）全体

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)		
①新設・改築道路 【バイパス等】 :12.0km	交通量	[台/日]	0	13,900		
	走行時間	[分]	0	12		
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	33.85		
②主な周辺 道路	一般国道45号 :12.8km	交通量	[台/日]	14,300	1,600	
		走行時間	[分]	26	17	
		走行時間費用	[億円/年]	72.47	4.39	
	一般国道346号 :5.0km	交通量	[台/日]	2,400	1,900	
		走行時間	[分]	9	9	
		走行時間費用	[億円/年]	3.93	2.82	
③その他道路合計 :7244.1km		走行時間費用	[億円/年]	21341.83	21330.73	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益	
合計:7273.9km		走行時間短縮便益	[億円/年]	21418.23	21371.79	46.44

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

一般国道45号三陸沿岸道路（歌津～本吉）全体



交通状況の変化

一般国道45号三陸沿岸道路（歌津～本吉）残事業

（推計時点 R12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)		
①新設・改築道路 【バイパス等】 :0.0km	交通量	[台/日]	13,700	13,900		
	走行時間	[分]	12	12		
	走行時間費用	[億円/年]	33.26	33.85		
②主な周辺 道路	一般国道45号 :12.8km	交通量	[台/日]	1,700	1,600	
		走行時間	[分]	17	17	
		走行時間費用	[億円/年]	5.01	4.39	
	一般国道346号 :5.0km	交通量	[台/日]	1,900	1,900	
		走行時間	[分]	9	9	
		走行時間費用	[億円/年]	2.83	2.82	
③その他道路合計 :7256.1km		走行時間費用	[億円/年]	21331.39	21330.73	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益	
合計:7273.9km		走行時間短縮便益	[億円/年]	21372.49	21371.79	0.70

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

一般国道45号三陸沿岸道路（歌津～本吉）残事業



費用便益分析の条件

事業名：一般国道45号三陸沿岸道路(歌津～本吉)

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和2年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)内の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他()	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 H23.3東日本大震災時における登米～釜石間での最長の全面通行止め日数を50年間に 換算(122日/年⇒2日/50年)	(2) 日
とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載		<input type="checkbox"/>	
冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 当該区間を管轄する三陸道維持出張所の除雪稼働日数より設定 (H29～R1)	(97) 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道45号三陸沿岸道路(歌津～本吉)全体

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.200	12.0	2.44

年次	年度	割引率 4%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-10年目	H 23	1.4233	99.8	15.83	23.21		
-9年目	H 24	1.3686	99.0	32.66	46.41		
-8年目	H 25	1.3159	99.0	76.91	105.09		
-7年目	H 26	1.2653	101.5	49.06	62.87		
-6年目	H 27	1.2167	103.0	61.66	74.88		
-5年目	H 28	1.1699	102.8	200.31	234.34		
-4年目	H 29	1.1249	102.9	118.07	132.69		
-3年目	H 30	1.0816	102.8	86.66	93.73		
-2年目	R 1	1.0400	102.8	12.75	13.26		
-1年目	R 2	1.0000	102.8	2.84	2.84		
供用開始年次	R 3	0.9615	102.8	2.82	2.71	2.15	2.07
1年目	R 4	0.9246	102.8	4.55	4.21	2.15	1.99
2年目	R 5	0.8890	102.8	4.55	4.04	2.15	1.92
3年目	R 6	0.8548	102.8	4.55	3.89	2.15	1.84
4年目	R 7	0.8219	102.8	1.82	1.50	2.15	1.77
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8			2.22	1.75
6年目	R 9	0.7599	102.8			2.22	1.69
7年目	R 10	0.7307	102.8			2.22	1.62
8年目	R 11	0.7026	102.8			2.22	1.56
9年目	R 12	0.6756	102.8			2.22	1.50
10年目	R 13	0.6496	102.8			2.22	1.44
11年目	R 14	0.6246	102.8			2.22	1.39
12年目	R 15	0.6006	102.8			2.22	1.33
13年目	R 16	0.5775	102.8			2.22	1.28
14年目	R 17	0.5553	102.8			2.22	1.23
15年目	R 18	0.5339	102.8			2.22	1.18
16年目	R 19	0.5134	102.8			2.22	1.14
17年目	R 20	0.4936	102.8			2.22	1.09
18年目	R 21	0.4746	102.8			2.22	1.05
19年目	R 22	0.4564	102.8			2.22	1.01
20年目	R 23	0.4388	102.8			2.22	0.97
21年目	R 24	0.4220	102.8			2.22	0.94
22年目	R 25	0.4057	102.8			2.22	0.90
23年目	R 26	0.3901	102.8			2.22	0.87
24年目	R 27	0.3751	102.8			2.22	0.83
25年目	R 28	0.3607	102.8			2.22	0.80
26年目	R 29	0.3468	102.8			2.22	0.77
27年目	R 30	0.3335	102.8			2.22	0.74
28年目	R 31	0.3207	102.8			2.22	0.71
29年目	R 32	0.3083	102.8			2.22	0.68
30年目	R 33	0.2965	102.8			2.22	0.66
31年目	R 34	0.2851	102.8			2.22	0.63
32年目	R 35	0.2741	102.8			2.22	0.61
33年目	R 36	0.2636	102.8			2.22	0.58
34年目	R 37	0.2534	102.8			2.22	0.56
35年目	R 38	0.2437	102.8			2.22	0.54
36年目	R 39	0.2343	102.8			2.22	0.52
37年目	R 40	0.2253	102.8			2.22	0.50
38年目	R 41	0.2166	102.8			2.22	0.48
39年目	R 42	0.2083	102.8			2.22	0.46
40年目	R 43	0.2003	102.8			2.22	0.44
41年目	R 44	0.1926	102.8			2.22	0.43
42年目	R 45	0.1852	102.8			2.22	0.41
43年目	R 46	0.1780	102.8			2.22	0.39
44年目	R 47	0.1712	102.8			2.22	0.38
45年目	R 48	0.1646	102.8			2.22	0.37
46年目	R 49	0.1583	102.8			2.22	0.35
47年目	R 50	0.1522	102.8			2.22	0.34
48年目	R 51	0.1463	102.8			2.22	0.32
49年目	R 52	0.1407	102.8	-17.94	-2.52	2.22	0.31
合計				657.10	803.15	110.59	47.37

単純事業費計		675.04	110.59
--------	--	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道45号三陸沿岸道路(歌津~本吉)残事業

年次	年度	割引率 4%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.230		0.3	0.07
-5年目	R 3	0.9615	102.8	2.82	2.71		
-4年目	R 4	0.9246	102.9	4.55	4.20		
-3年目	R 5	0.8890	102.8	4.55	4.04		
-2年目	R 6	0.8548	102.8	4.55	3.89		
-1年目	R 7	0.8219	102.8	1.82	1.50		
供用開始年次	R 8	0.7903	102.8			0.06	0.05
1年目	R 9	0.7599	102.8			0.06	0.05
2年目	R 10	0.7307	102.8			0.06	0.05
3年目	R 11	0.7026	102.8			0.06	0.04
4年目	R 12	0.6756	102.8			0.06	0.04
5年目	R 13	0.6496	102.8			0.06	0.04
6年目	R 14	0.6246	102.8			0.06	0.04
7年目	R 15	0.6006	102.8			0.06	0.04
8年目	R 16	0.5775	102.8			0.06	0.04
9年目	R 17	0.5553	102.8			0.06	0.04
10年目	R 18	0.5339	102.8			0.06	0.03
11年目	R 19	0.5134	102.8			0.06	0.03
12年目	R 20	0.4936	102.8			0.06	0.03
13年目	R 21	0.4746	102.8			0.06	0.03
14年目	R 22	0.4564	102.8			0.06	0.03
15年目	R 23	0.4388	102.8			0.06	0.03
16年目	R 24	0.4220	102.8			0.06	0.03
17年目	R 25	0.4057	102.8			0.06	0.03
18年目	R 26	0.3901	102.8			0.06	0.02
19年目	R 27	0.3751	102.8			0.06	0.02
20年目	R 28	0.3607	102.8			0.06	0.02
21年目	R 29	0.3468	102.8			0.06	0.02
22年目	R 30	0.3335	102.8			0.06	0.02
23年目	R 31	0.3207	102.8			0.06	0.02
24年目	R 32	0.3083	102.8			0.06	0.02
25年目	R 33	0.2965	102.8			0.06	0.02
26年目	R 34	0.2851	102.8			0.06	0.02
27年目	R 35	0.2741	102.8			0.06	0.02
28年目	R 36	0.2636	102.8			0.06	0.02
29年目	R 37	0.2534	102.8			0.06	0.02
30年目	R 38	0.2437	102.8			0.06	0.02
31年目	R 39	0.2343	102.8			0.06	0.01
32年目	R 40	0.2253	102.8			0.06	0.01
33年目	R 41	0.2166	102.8			0.06	0.01
34年目	R 42	0.2083	102.8			0.06	0.01
35年目	R 43	0.2003	102.8			0.06	0.01
36年目	R 44	0.1926	102.8			0.06	0.01
37年目	R 45	0.1852	102.8			0.06	0.01
38年目	R 46	0.1780	102.8			0.06	0.01
39年目	R 47	0.1712	102.8			0.06	0.01
40年目	R 48	0.1646	102.8			0.06	0.01
41年目	R 49	0.1583	102.8			0.06	0.01
42年目	R 50	0.1522	102.8			0.06	0.01
43年目	R 51	0.1463	102.8			0.06	0.01
44年目	R 52	0.1407	102.8			0.06	0.01
45年目	R 53	0.1353	102.8			0.06	0.01
46年目	R 54	0.1301	102.8			0.06	0.01
47年目	R 55	0.1251	102.8			0.06	0.01
48年目	R 56	0.1203	102.8			0.06	0.01
49年目	R 57	0.1157	102.8	-1.00	-0.12	0.06	0.01
合計				17.29	16.23	3.18	1.12
単純事業費計				18.29		3.18	

注1) 事業費の投資パターンは、概算事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

